



# Weekly Market Report

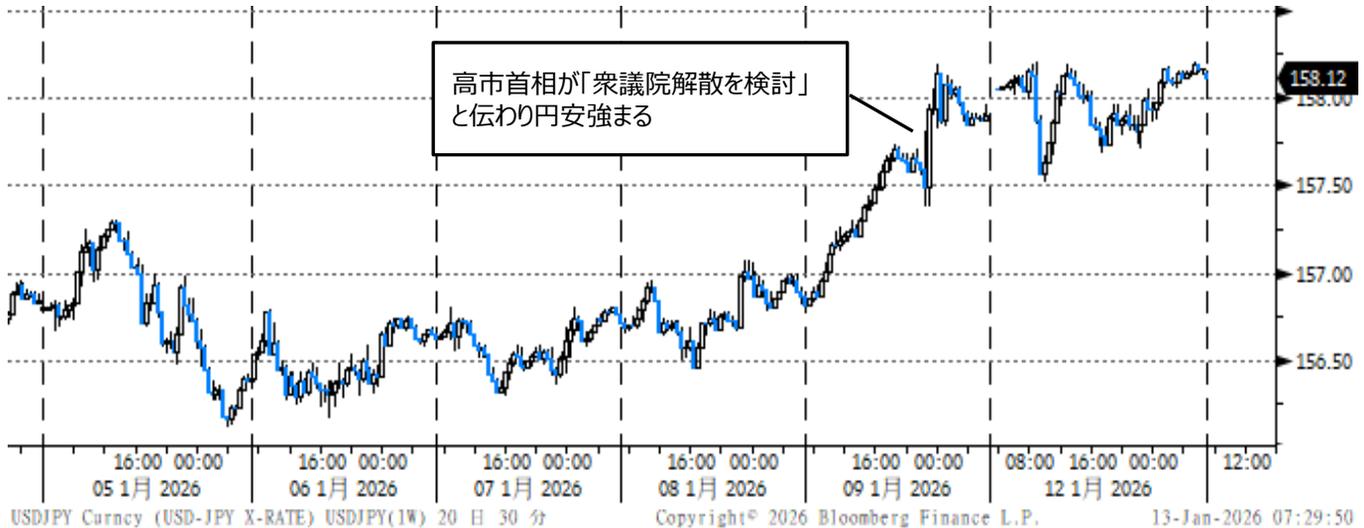
Jan 13, 2026

FX, JPY Interest Rate, Topics

## 1. 為替相場概況

年初めの1週間は上昇してスタート。目先はトランプ関税の最高裁判決に注目

### USD/JPY (1週間の値動き)



### コメント

(出所) Bloomberg

先週のドル円相場は下値を切り上げながら金曜日に急上昇する展開となった。年初、突如として米国によるベネズエラへの軍事作戦が実施されたものの、ドル円への影響は限定的。地政学リスクへの警戒から上値が重い中、NISAを通じた対外投資へのフローや国内実需勢の買いなどが相場を下支え。その後、8日発表の米貿易収支の赤字額が2009年以来で最小となったことや新規失業保険申請件数も予想を下回ったことでFRBの早期利下げ観測が後退。ドル円は157円台までじりじりと上値を切り上げるも、週末に注目されていた雇用統計が強弱マチマチな内容だったことで更なる上値追いには至らず。しかし、その後高市首相が衆議院解散を検討しているとの報道が伝わると、積極財政への警戒感から円安が急進し一時158円台まで上昇する結果となった。今週は米景況感に関する指標の発表があるが、為替介入への警戒に加えて、先週末から延期となったトランプ関税の合法性を巡る米最高裁の判決待ちから上値の重たい展開となるだろう。(市場営業部/黒川)

### 今週の経済指標 (予定)

日付	イベント	予想
1/13(火)	コアCPI (米国)	2.7%
1/14(水)	PPI (除食品・エネルギー) (米国)	0.2%
1/14(水)	小売売上高 (米国)	0.4%
1/15(木)	NY連銀景況指数 (米国)	1.0
1/15(木)	フィラデルフィア連銀景況指数 (米国)	-2.9

### USD/JPY (5年間)



(出所) Bloomberg

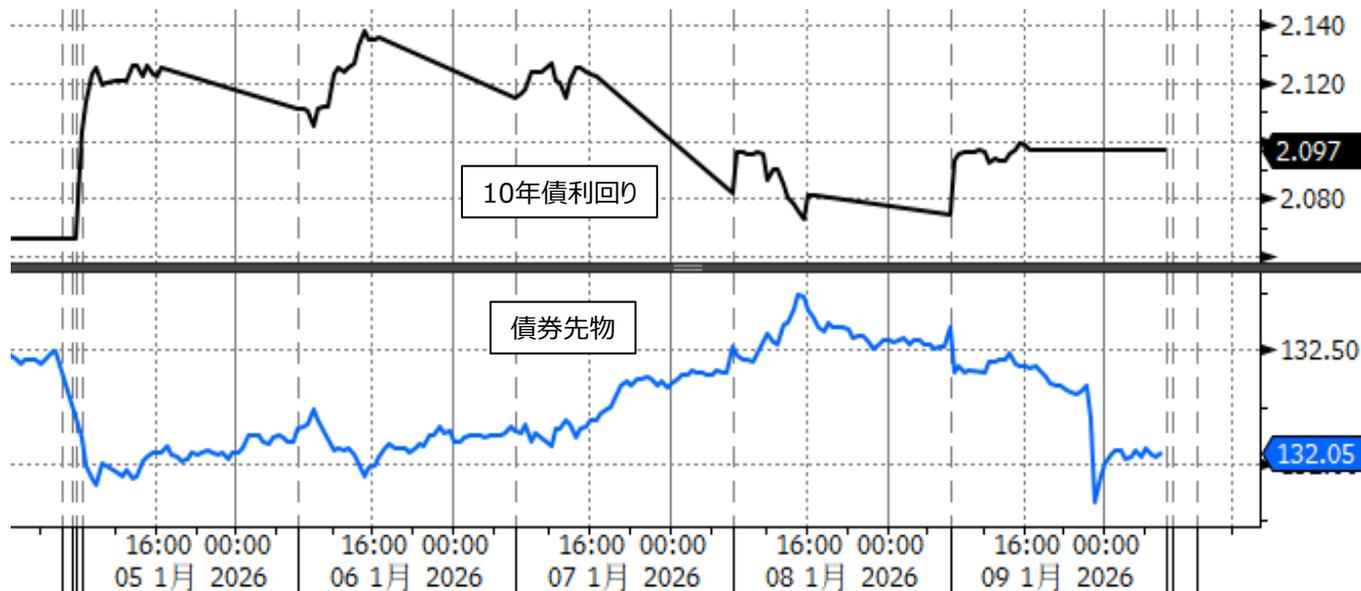
### 今週のレンジ予想 (USD/JPY)

予想者	今週のレンジ	予想のポイント
渡邊和也	157.00 – 160.00	13日CPIに注目。予想外に強い結果となった場合に利下げ懸念後退から上値を伸ばす展開に注意したい。
堀広太	156.50 – 159.50	円買い材料少なく、為替介入を警戒しながらも上値を試す展開を予想。高市政権のヘッドラインに注意したい。

## 2. 円金利相場概況

解散総選挙報道で週明け売り先行、カーブのスティープ化見込まれる

### 10年国債金利と債券先物（1週間の値動き）



GJGB10 Index (日本国債10年) JGB.F 30 日 30 分 Copyright© 2026 Bloomberg Finance L.P. 13-Jan-2026 07:20:41

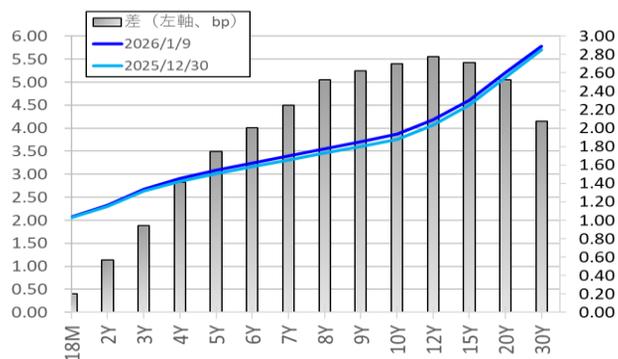
### コメント

(出所) Bloomberg

年明け初日の5日は、日本市場休場中に米長期金利が上昇した流れを引き継いで金利上昇でスタートした。その後は株高を横目に、翌日に控えた10年債入札も意識されたのか、幅広い年限で金利上昇。火曜日は、前場に10年債入札の先回り買いが入り金利は低下。結果は無難に通過したものの、市場は戻り売りを狙っていた参加者が多かったのか、後場寄りからは一転して前場の金利低下を巻き戻す展開となった。水曜日から木曜日にかけては日中関係悪化に伴うリスクオフとなり債券は買い優勢で金利低下。金曜日に入るとリスクオフの金利低下は一服、特段の材料はない中、夜間に米金利が上昇した流れも受けて前日までの金利の低下幅を縮小した。

今週は先週末に報じられた解散総選挙のニュースを消化することから始まりそうだ。夜間の先物は132円5銭と金曜日の引けから40銭近く売られて帰ってきており、カーブはスティープ化が見込まれる。（市場商品部/金利G）

### 金利スワップ変化（1週間）



### 10年円金利スワップ推移（5年間）



JYS010 Curacy (JPY SWAP OIS 10Y) Yen SWAP 5Y 日足 16APR2020-13JAN2026 Copyright© 2026 Bloomberg Finance L.P. 13-Jan-2026 07:21:41

### 今週のレンジ予想（10年国債利回り）

(出所) Bloomberg

予想者	今週のレンジ	予想のポイント
飯野りさ子	2.09% - 2.20%	23日の通常国会冒頭での衆議院解散の報道や、FRB独立性への懸念から債券が売られ、円金利は上昇しやすい展開と予想。
長山菜摘	2.07% - 2.19%	衆議院解散検討報道が積極財政の長期化を連想させ、円金利に上昇圧力がかかる展開を予想。

### 3. 今週のトピックス

#### 2026年の日経平均株価の見通し

##### 今年の日経平均株価の相場展開について

###### <昨年の日経平均株価動向振り返り>

昨年の日経平均株価は、年間を通じて大幅な上昇となった。特に半導体・AI関連や輸出企業の利益成長が指数を押し上げ円安局面では上昇圧力が一層強まった。一方で、4月には、関税を巡り米国と中国との間に関税戦争激化懸念が高まったことで世界的に株安となり、日経平均株価は1日に2,000円超下落する場面もあった。ただ、その後は米国の利下げ観測、高市氏が総理大臣に就任したことなども、株買い材料となり、4月以降はほとんど一本調子に日経平均株価は上昇していった【図表1】。結局、日経平均株価は高値圏を維持し、年初来26.18%高と3年連続の大幅高で終了した。

本稿は、予想EPSを用いて簡易的な方法で予想株価を算出し今後の日経平均株価の動向について考えることを目的としている。

###### <予想EPSと株価の関係について>

EPSとは、企業が将来1株当たりどのくらいの利益を出すかと見込まれているのかを示す値で、**EPS = 純利益 ÷ 発行済株式数 - 式①**で求められる。予想EPSとはその予測値のことで株価の予想などに用いられる。株価とEPSの基本的な関係は**株価 = EPS × PER (1株当たり利益) - 式②**となっていることから、PERが一定と仮定すると、予想EPSが上げれば予想株価は上昇する計算となる。

###### <予想株価の算出方法>

基準を2025/12/29引け時点としBloombergデータ（予想PER値は2026年末予想PERデータ（23.24）を固定値として使用。）と、簡易的に成長率を加味して設定した予想EPSを用いて予想株価を算出していく。上記の式②より、**EPS = 株価 ÷ PER - 式③**と変形できる。この式③にBloombergデータを代入すると、**EPS = 50,526 ÷ 22.57 ≒ 2,240**（株価とPERは基準時点の値を使用）となる。この値をもとに予想EPSを定め、予想株価を計算した結果が【図表2】である。

###### <強気> 成長率+10%

強気シナリオの場合の日経平均株価は57,263円と計算される。

###### <弱気> 成長率▲10%

弱気シナリオの場合の日経平均株価は46,852円と計算される。

###### <まとめ>

今回はあくまで水準感を探るという意味で過去のデータを参考に簡単な計算を行った。この結果からイメージとして、今年の日経平均株価は上は60,000円、下は45,000円程度と見ておきたい。海外投資家の株式売買動向をみると近年買い越しが続いているが、一方で、去年の大幅な買い越し額を考慮すると、今年は同様の買いが見込めない可能性もある【図表3】。年始からのマーケットを見ると、株式相場の強気姿勢は維持され高値圏での推移が続いているが、今年については上昇率の失速や、下落方向に傾く可能性も含めて、考えておく必要があるだろう。

【図表1】日経平均株価の推移（2025年4月～）



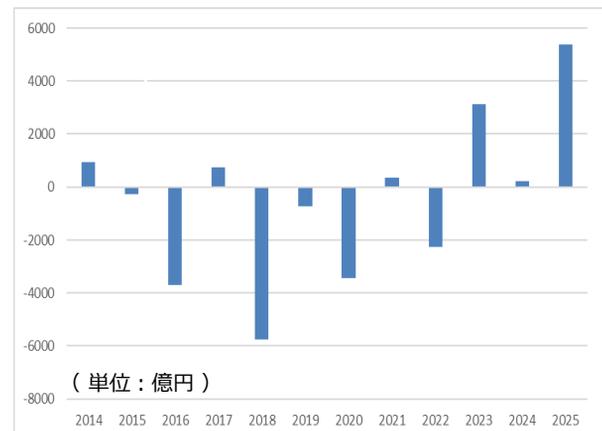
（出所: Bloomberg, あおぞら銀行加工）

【図表2】予想EPSを用いた株価の計算結果

	成長率	予想EPS	予想PER	2026年度末予想株価
強気	10%	2,464	23.24	57,263
標準	5%	2,352	23.24	54,660
弱気	-10%	2,016	23.24	46,852

（出所: Bloombergデータ, あおぞら銀行加工）

【図表3】海外投資家の国内株式売買代金推移



（単位：億円）

（出所：JPX, Bloomberg, あおぞら銀行加工）

## ご留意事項

- ・本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の申し込みでも、取引締結の推奨でもなく、売買若しくは何らかの取引を行うことを助言したり、または勧誘したりするものではありません。
- ・本資料の内容につき、当行はその正確性及び完全性を保証するものではなく、一切の責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身のご判断をお願いします。
- ・本資料に基づき、お客さまが投資のご判断をされた結果に基づき生じた損害・損失等については、当行は一切責任を負いません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法により保護されております。無断で本資料の全部または一部を複製、送信、転載、譲渡および配布することはできません。
- ・本資料に掲載された各見通しは本資料作成時点での各執筆者の個人的見解に基づいており、それらは必ずしも当行の見解を反映しているとは限らず、また、予告なしに変更される場合があります。



商号：株式会社あおぞら銀行（登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号）  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会